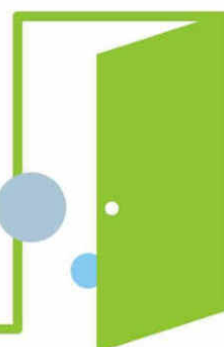
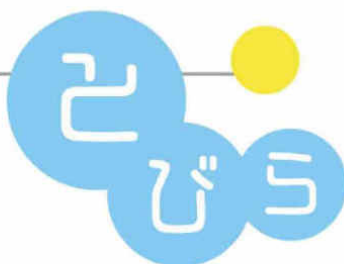




特集
議会の
ルール
と
お金の話

柏崎市議会だより

ギカイの



No.205 令和8(2026)年8月5日発行

今回の表紙

6月定例議会最終日

(場所 議場)

もくじ

■ 特集《議会のルールとお金の話》	P2~5
■ 委員会審査報告	P6・7
■ 一般質問	P8~11
■ 政務活動費収支報告	P12
■ 政務活動を行いました	P13
■ ギカイのうごき、永年勤続議員表彰	P14・15
■ 9月定例会議の予定 ほか	P16

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/>





議会のルールと お金の話

柏崎市議会のルールやお金の話、政治家として守るべき寄附禁止のルールについて、解説します。

議会のルールの話

◎議会はどう開かれているの？

柏崎市議会は「通年議会」を採用しています。会期(議会が活動できる期間)を丸1年としており、会議を開くための手続きが簡略化されるため、年4回の定例会議以外にも随時会議を開きやすく、実際に年間を通じて議論を行っています。議会が常に活動できる体制を整えることで、災害などの緊急時にも即座に対応できるほか、委員会の調査研究をいつでも行える体制が整っています。



議会の開催方法には、大きく分けて「通年議会」と「定例会」があります。

通年議会



●通年議会

年間を通して会議を設定・変更できる柔軟性があり、急な議題や長期テーマにも対応可能です。ただし、会議の頻度が増えるため、審議の質を保つためのルールや議員の役割分担が重要となります。

●定例会

年度計画に沿って固定された日程で開催されます。議案の順序やスケジュールが事前に決まるため安定性が高い反面、急な事態への柔軟性は低いという特徴があります。

◎議会を支える「2つの大切なルール」

市民の皆さんに信頼され、開かれた議会をつくるために、大切なルール(条例)を定めています。

① 議会基本条例 (議会の“取扱説明書”)

議会の役割や情報公開、市民参加など、議会活動の基本ルールを定めた「議会の憲法」です。

基本条例



② 議会議員倫理条例 (クリーンな政治のために)

市民の代表である議員が守るべきモラルや、公平な活動をするための倫理基準を定めています。

倫理条例





◎政務活動費とは？

政務活動費



政務活動費は、会派が行う調査研究や研修などの活動を行う際に必要な経費を補助するために支給される公費です。本市の政務活動費は、会派に交付されます。

・交付金額 1人当たり月額4万円 年間48万円

・交付時期 4月、10月に半期分を交付

各会派は、領収書または支出の確認ができる書類を添付して、収入・支出の報告書を作成し、議長へ提出しています。年度終了後に精算し、交付した額に余りが出た場合は、市に返還しています。



◎議員の報酬はいくらでしょう？

議員報酬



議員は市民の声を市政に届ける大切な役割を担っています。

通年議会として、年間を通して各種会議や視察などの活動を行う議員に対し、次の報酬が支給されます。

報酬月額※

議長 518,000円 副議長 442,000円

議員 415,000円

期末手当※

報酬月額×1.15×1.75月×2回(6月・12月)

※議員報酬や期末手当から、社会保険料、住民税、所得税を納めています。

豆知識

～議員年金(地方議員年金制度)ってあるの？～

市議会議員独自の年金制度(地方議会議員年金)は、平成23(2011)年に廃止されました。そのため、廃止後に就任した議員が議員年金をもらうことはなく、皆さんと同じく国民年金や厚生年金のみを受け取ります。ただし、制度廃止の時点で受給条件を満たしていた一部の元議員や現役議員には、権利が残っています。

議員がしてはいけないこと

政治家の選挙区内での寄附は禁止、 有権者が寄附を求めることも禁止

次のイラストは公職選挙法に基づく、政治家(議員や候補者など)からの「寄附禁止」の具体例です。政治家は、有権者に対して金品や物品を送ることが禁止されています。これは、選挙や政治活動における政治家と有権者のクリーンな関係を保ち、選挙や政治の腐敗を防ぐためのものです。違反すると罰則が科せられる場合があります。



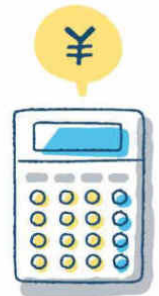
「寄附の禁止」(総務省)(https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html) を加工して作成
※政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら参加して直接手渡す場合は、罰則が適用されない場合があります。

寄附の禁止



例1 後援団体からの寄附禁止

政治家の後援団体（後援会など）が選挙区内の方へ、花輪、供花、香典、祝儀などを出すことは禁止されています。
※ただし、後援団体の設立目的により行う行事や事業に関する寄附を除く。



例2 贈答品やお祝い、お見舞いなどの禁止

お歳暮やお中元、入学・卒業祝い、バレンタインデーやホワイトデーなど慣習として行われているものや、けがや病気に対するお見舞いも寄附に当たり、禁止されています。



～皆さまへのお願い～

政治家に対して、寄附を求めることも法律で禁止されています。
クリーンな政治を維持するため、ルールの順守にご理解とご協力をお願いします。



令和8(2026)年6月定例会議常任委員会での 審査について報告します

総務常任委員会

■委員長 近藤 由香里 ■副委員長 星野 幸彦
■委員 布施 学・五位野 和夫・上森 茜・春川 敏浩・真貝 維義

7件の議案を審査しました。

●印鑑条例の一部を改正する条例

概要

マイナンバーカードと一体化した特定在留カードや特定特別永住者証明書を持つ在留外国人の方々について、当該カードを用いた印鑑登録証明書のコンビニ交付を可能とする改正。

主な質疑

- Q 特定在留カード等の保有者および印鑑登録をしている在留外国人数は。
- A カードの発行開始が令和8年6月14日からであり、保有はこれからとなる。印鑑登録者数は5月末現在、310名である。
- Q 市役所で特定在留カード等の申請は可能か。
- A 市民課窓口で可能な場合と、地方出入国在留管理局での申請が必要な場合がある。

文教厚生常任委員会

■委員長 山本 博文 ■副委員長 池野 里美
■委員 三嶋 崇史・田邊 優香・持田 繁義・重野 正毅・相澤 宗一

3件の議案を審査しました。

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

概要

児童福祉法の改正に伴い、地域限定保育士に関する規定を整備するため。



主な質疑

- Q 地域限定保育士についての詳細は。
- A 保育人材の不足地域において、国の認定を受けた地方公共団体が地域限定保育士の採用試験を実施できることとなったが、現時点では新潟県および柏崎市は国の認定を受けていない。
- Q 認定された保育士は他市でも勤務可能か。
- A 3年間は合格自治体のみで勤務。3年後は、全国で活躍できる。

産業建設常任委員会

■委員長 三宮 直人 ■副委員長 西川 弘美
■委員 山崎 智仁・佐藤 正典・佐藤 和典・柄沢 均・星野 正仁

付託議案などはありませんでした。

YouTube
録画映像

審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 佐藤 正典 ■副委員長 三嶋 崇史

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和8(2026)年度一般会計補正予算(第4号)など、 7件の議案について審査しました。

総務分科会

令和8(2026)年度一般会計補正予算(第4号)

●路線バス等確保事業(950万円)

概要

南鯖石地区で柏崎市AI新交通「あいくる」の実証運行を実施するための経費。

主な質疑

Q 実証運行の内容は。

A 既存のタクシー車両を活用し、週2日(火・木曜日)運行する。料金設定は区域内200円、区域外600円とする。

Q 現状の「あいくる」の評価は。

A エリアによって乗車率に差はあるが、利用者数や収支だけでなく、高齢者の移動手段確保という福祉的な役割も含めて評価し、今後の運行区域や方法を検討する。



文教厚生分科会

令和8(2026)年度一般会計補正予算(第4号)

●文化振興支援事業(76万2千円)

●スポーツ事業支援経費(343万5千円)

概要

国の新たな補助制度「部活動の地域展開等推進事業」として、休日の中学校の地域クラブ活動に要する指導者の報酬等、経済的困窮世帯の生徒に係る参加費および保険料を支援するもの。

主な質疑

Q 大会や遠征参加時の交通費の補助は。

A 補助対象外(受益者負担)。

Q 楽器が破損した際の修繕費は。

A 状況により学校または受益者が負担。

Q 休日の地域クラブへ参加しない生徒へのフォローはどう考えるか。

A 参加は任意のためフォローは難しい。

産業建設分科会

令和8(2026)年度下水道事業会計補正予算(第1号)

●鵜川雨水放流幹線改良工事(7千万円)

概要

国土交通省の要請で、道路陥没事故の未然防止を目的に実施した下水道管路の全国特別重点調査の結果、原則1年以内の速やかな対応が必要と判定された雨水放流幹線の改良工事。

主な質疑

Q 増額補正となった理由は。「柏崎市水ビジョン(経営戦略)」にうたわれている老朽化対策との整合性は。

A 調査の結果、柏崎雨水ポンプ場から下流部に緊急度の高い案件があった。老朽化対策は経営戦略に基づき行っているが、今回の件は財政計画に入っておらず、補正となった。企業債としたのは、世代間の公平性を考えてのことである。



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに関心がありますか？

エネルギー政策



近藤由香里

Q 柏崎あい・あー
るエネルギーに対する
市民理解の促進

A 電力供給拡大や「脱炭素の
あかり」を検討

質問 脱炭素のまちづくりを進める上で、あい・あーるエネルギーの存在意義を市民と共有することが重要だと考える。介護・福祉施設等への電力供給や、街路灯・公共空間のライトアップなど、夜間照明を活用した「脱炭素のあかり」による取り組みの見える化を図るよう、市として働きかけてはどうか。

回答 同社と連携し、前向きに検討したい。

他の質問 地方創生を担うイベント人材確保・育成の仕組みづくり



動画でチェック

空き家



春川敏浩

Q 進まぬ空き家対策の現状と、課題の
打開策は

A 先を見据え、地元コミュニティとより一層連携を深め相談窓口の充実を図る

質問 空き家を放置することにより、倒壊や建築資材の飛散など近隣住民の生活環境を害する恐れや、都市景観の悪化や防災、公衆衛生、地域に悪影響を及ぼす恐れがある。

回答 所有者管理の原則がある以上、行政の介入は限定的とならざるを得ない。20～30年後を見据え、4月施行の「空き家等対策計画（第2期）」に基づき、地域との連携を深める。

他の質問 2027年問題エアコン ほか



動画でチェック

震災継承



池野里美

Q 新潟県中越沖地震20年の節目としての市の取り組み

A 語り継ぐことは責務。風化させないために、関係機関と取り組みを検討する

質問 中越沖地震20年の節目を記念で終わらず、災害の歴史継承や体験者の語り継ぎの機会を市はどう創出するのか伺う。

回答 20年という節目は非常に重要で、経験を語り継ぐことは市の責務。災害の歴史継承や体験者の語り継ぎの機会など、災害を風化させず、市民の防災意識向上につながる取り組みを関係機関と連携し検討していく。

他の質問 誰もが安心して出産できる柏崎を目指して



動画でチェック

道の駅



山本博文

Q 道の駅「風の丘米山」再整備の持続可能な方向性

A 花の丘をコンセプトとして再開し、段階的に整備して行く

質問 道の駅「風の丘米山」は観光名所を含む市内西の玄関口だ。10年、20年先を見据えた持続的な再整備の方向性を伺う。

回答 道の駅再整備に向けて段階的に進めていく。第一段階として花の丘をコンセプトに取り入れ、将来的には民間主導による商業施設整備も探っていき、防災拠点としての機能は国や県と連携しながら検討を進める。

他の質問 米山ハイキングベース ほか



動画でチェック

鯨波産業団地



佐藤正典

Q GX戦略地域構想における鯨波産業団地の計画概要は

A 令和9年度に造成工事を発注し、令和12年度の完成、分譲開始を目指す

質問 鯨波産業団地の現時点における計画概要と今後のスケジュールは。また、総事業費および財源構成は。

回答 令和8年度7月末までに基本設計を策定、令和9年度は用地取得を行う。総事業費は58億円としていたが、近年の建設費等の高騰により、一定程度の増額を見込む必要がある。造成費用は、分譲売却益で回収する。

他の質問 市職員の60歳以降の働き方と定年引き上げに伴う対応



動画でチェック

学区再編



重野正毅

Q 今後の学区再編に向けたこれまでの取り組みの生かし方

A 統合の経過や実績を踏まえ、得られた教訓を次の段階に確実に生かしていく

質問 今後も進められる学区再編。これまでの取り組みを評価しておく必要がある。

回答 重要なのは子どもたちが生き生きとした表情で友人関係を築き、充実した学校生活を送る姿。学区再編は地域と教育の未来を見据えた重要な取り組み。子どもにとって最善の教育環境を整備するとともに地区民の信頼と理解を得ながら丁寧に進めていく。

他の質問 児童・生徒の安全確保



動画でチェック

原発



星野 幸彦

Q 特重施設の設置
期限の起点日変更は、
規制の緩和では

A 特重施設の可及的速やかな
完成を引き続き求める

質問 原子力規制委員会は、原発の特定重大事故等対処施設の設置猶予期限を営業運転開始から5年に変更した。同委員会は規制の改善としているが、事実上の規制緩和ではないか。

回答 起点日の変更は現実に即した規制の改善であり、一定の合理性があると考えている。市民の安全・安心を最優先に考え、可及的速やかな特重施設の完成を求める。

他の
質問



動画でチェック

環境



西川 弘美

Q ごみ処理費用や
新ごみ処理場建設へ
の物価高騰の影響は

A 今後の動向を把握し適切な
対応に努める。現時点で建
設工期に影響はない

質問 ごみ処理費用の決算見込みと、新ごみ処理場建設工事への物価高騰の影響は。

回答 ごみ収集から埋め立てまでの工程にかかる費用は令和7年度決算見込みで約10億円。新ごみ処理場の建設は長期にわたるため、物価高騰の影響も想定し、国や他自治体の状況を把握しながら適切な対応に努める。現時点で建設工期に影響はない。

他の
質問

くらしのサポートセンター、子ども視機能発達への支援



動画でチェック

観光振興



田邊 優香

Q 県外児童生徒の
修学旅行誘致による
初期接点づくり

A 直ちに移住・定住につな
がることは難しいが、今後研
究をしていく

質問 県外小・中学生の修学旅行を誘致し教育資源を生かして若年層に本市の魅力と将来の関心を育む施策について考えを伺う。

回答 直ちに交流人口の拡充や移住・定住につながるとはいえないが、柏崎を知っていたく非常にいい機会となり得る。教育関係、観光協会、商工会議所、地域などと連携し今後研究する。

他の
質問

誰もが安心して利用できる避難所確保



動画でチェック

ナフサ問題



布施 学

Q ナフサの供給不
足による本市への影
響は

A 指定ごみ袋は現時点で本年
度分の供給不足はないと見
込んでいる

質問 中東情勢悪化によるナフサ供給不足が指定ごみ袋や公共事業に及ぼす影響は。

回答 指定ごみ袋については、本年度分の供給不足はないと見込んでいる。公共事業への影響については、原材料価格の高騰や納期の延長などは避けられないが、在庫確認や早期発注に努め、市民生活や公共サービスに支障が生じないよう対応する。

他の
質問

柏崎市立小・中学校「ラーケーションの日」ほか



動画でチェック

スポーツ支援



Q スポーツ合宿等を誘致する制度を創設する考えは

A 誘致キャンペーンやニーズ調査を行う

質問 スポーツ合宿や大会等の誘致を通じて、関係人口の拡大、観光振興、宿泊・飲食・交通など地域経済の活性化、市の知名度向上といった相乗効果を生み出すと考える。

回答 コロナ禍以降に柏崎に来たことがない競技団体へのカムバックキャンペーン、また、スポーツ協会加盟団体へ合宿地に求める支援ニーズを把握するための調査を行う。

他の質問 公立小学校への書類提出のデジタル化を ほか



動画でチェック

窓口受付時間



Q 窓口受付時間が短縮されることによる市民への対応

A 平日に来庁が困難な方のため、土曜日の午前開庁は確保する

質問 窓口受付時間の短縮分を、夜間や休日の一部開庁、週1回の延長開庁に充てるなど、市民の利便性向上策が必要と考える。

回答 土曜の窓口開設は、平日に来庁が困難な方の行政サービス確保のため、午前9時から正午までの3時間が必要と判断した。より良い窓口サービスの在り方について引き続き検討していきたい。

他の質問 情報格差（デジタルディバイド）における高齢者対策 ほか



動画でチェック

獣害対策



Q 農地と生活環境の獣害対策を一元化した効果について

A 担当部署の一元化により、関係者との連携が進んだと評価している

質問 農地と生活環境の獣害対策を一元化したことに対する評価と、昨年のクマの緊急銃猟訓練等に対する評価について伺う。

回答 一元化によって通報先が明確になり、関係者との連携が進んだ。訓練から見えた課題として、現地と市本部の連絡手順・タイミングについて、クマの動きに合わせた迅速な対応を今後も検討する。

他の質問 柏崎市における地域・産業間の多業（マルチワーク）の可能性



動画でチェック

男女共同参画



Q ジェンダーギャップ解消を経済戦略として取り組むこと

A ジェンダー平等を推進し、誰もが能力を発揮できるまちづくりを推進する

質問 ジェンダーギャップ解消は人権問題であると同時に、地域経済の存続に関わる戦略であり、若年女性の流出を止めるため「地域経済の生存戦略」と位置付けるべきだ。

回答 若者や女性に選ばれるまちづくりは、地域経済の持続的発展につながる。市としても企業や関係団体と連携を図りながら、ジェンダーギャップ解消向け施策を進める。

他の質問 物価高と資材不足から市民の暮らしと営業を守る ほか



動画でチェック

政務活動費収支報告

令和 7 (2025) 年 4 月～令和 8 (2026) 年 3 月

政務活動費



議員 1 人当たり月額 4 万円の政務活動費を交付し、残額は市に返還しました。領収書などの写しを含む収支報告書をホームページで公開しています。

政務活動費収支報告額一覧

(単位:円)

会 派	所属議員数	交付額	支出額	残 額	備考
柏崎の風	5	2,720,000	2,109,363	610,637	5 月に 4 名減員
柏盛クラブ	2	960,000	743,711	216,289	
社会クラブ・柏崎のみらい連合	3	1,440,000	964,782	475,218	
公明党	2	960,000	940,884	19,116	
日本共産党柏崎市議員団	2	960,000	324,269	635,731	
民社友愛	2	960,000	982,550	-22,550	不足分は会派負担
自治研究会	2	960,000	203,435	756,565	
明日への希望	4	1,600,000	1,596,362	3,638	5 月結成
合計	22 人	10,560,000	7,865,356	2,694,644	

セムカンで作成した令和 7 (2025) 年度の収支報告書ホームページ

セムカン
公開ページ



令和 8 (2026) 年 4 月から正式導入した政務活動費管理クラウドシステム「セムカン」で作成した収支報告を、市議会ホームページからご確認いただけます。

金額の大小を円形で表示し、会派ごと、項目ごとなどで切り替え可能なため、視覚的に認識しやすい構成となっています。

政務活動費 収支状況一覧

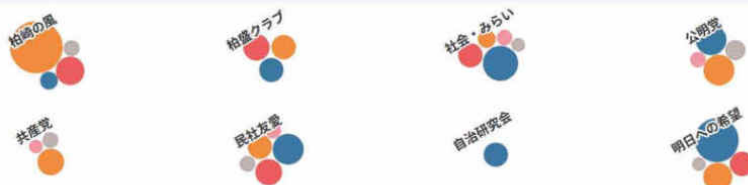
令和7年度柏崎市議会での政務活動費の使い道

合計 会派ごと 項目ごと

- 調査研究費
- 研修費
- 広報費
- 広聴費
- 要請・陳情活動費
- 会議費
- 資料作成費
- 資料購入費
- 人件費
- 事務所費

○ 30,000 ○ 300,000 ○ 2,000,000

単位: 円



政務活動を行いました

柏崎市議会の政務活動費は会派(通常は所属議員2人以上で結成)に対して交付されます。



社会クラブ・柏崎のみらい連合

■ 4月27日(月)～28日(火)



佐渡市役所

活動内容

- 通年観光の工夫・取り組み
- 合併後の広域連携について
- トキとの共生のまちづくり
- 世界文化遺産登録後の魅力発信

社会・みらい
連合



通年観光の工夫・取り組み

佐渡市は2024年7月「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録された。しかし、冬は海が荒れやすくフェリー欠航などにより、通年観光に課題がある。そこで、寒ブリや加茂湖のカキ等、冬ならではの旬の食を味わえる店舗を巡るキャンペーンを進めている。また、佐渡市は自然・歴史・文化・芸術などさまざまな観光資源を生かした島内周遊や体験型観光も提案している。そして、世界遺産登録を機に県内を周遊するツアーなど県内自治体との連携を模索している。本市も柏崎ならではの食や自然、無形文化遺産に登録された綾子舞など、これらの観光資源を組み合わせた工夫が可能であると感じる。特に、佐渡から始まる『金の道』は、主要ルートである北国街道が柏崎を通り江戸へ向かった歴史をもつ。この縁を生かし、佐渡市との連携による広域観光の可能性を探っていきたいと感じる視察であった。

明日への希望

■ 4月20日(月)～21日(火)



道の駅「花の駅 千曲川」

活動内容

- 道の駅「花の駅 千曲川」
(交流・関係人口創出の取り組み)
- 道の駅「保田小学校」
(廃校を活用した都市交流施設)

明日への希望



道の駅を核とした交流・関係人口創出の取り組みと効果

飯山市の道の駅「花の駅 千曲川」は、指定管理者である地元DMOが多様な主体と連携し、交流・関係人口の創出につなげている。花と銘打つが、構内の花はスタッフが管理できる範囲であり、主な集客要因は農産物直売所、地元食材を活用した飲食店、アウトドアブランドの導入にある。本市の道の駅「風の丘米山」再整備においても、目的地化と周辺観光への周遊を促す仕組みが重要であると学んだ。

廃校を活用した交流拠点型道の駅の取り組みと効果

都市交流拠点・道の駅「保田小学校」は、鋸南町における学校再編の段階から利活用方針が検討され、小学校をコンセプトとした事業運営により高い集客を維持している。専門事業者と連携して戦略的に利活用を進めることで、校舎の劣化を最小限に抑え、再整備コストの縮減にもつながっている。公共施設の適正管理において非常に参考になった。

ギカイのうごき

CHECK!

1

総務常任委員会と総合企画部および産業振興部との意見交換会

5月13日、総務常任委員会では、調査研究事項である「DXの推進」について意見交換会を行いました。

総合企画部からは「第2次DX推進計画」の全体像、産業振興部からは「ものづくり産業のDX化」について説明を受けた後、市のデジタル化推進の在り方について活発に意見を交わしました。

常任委員会



CHECK!

2

文教厚生常任委員会が妙高市立新井南小学校を視察

5月19日、特色ある教育で注目される「小規模特認校制度」と「妙高型イエナプラン教育」について、現地視察を行いました。

意見交換では、児童の主体性を育む教育手法などについて説明を受けました。「子どもを信じ自立を促す」という方針に対し、質疑を通じて本市施策への示唆を得る有意義な議論となりました。

常任委員会



CHECK!

3

産業建設常任委員会と柏崎商工会議所との意見交換会

4月16日、柏崎商工会議所と意見交換会を行いました。

会では、会議所の取り組みや課題を共有し、議会からは「まちなかの変化」について報告しました。市の未来と地域経済の活性化に向け、官民連携の重要性について活発な意見を交わしました。

常任委員会



CHECK! 4

柏崎刈羽原子力発電所に関する 調査特別委員会が勉強会を開催

特別委員会



原発を取り巻く諸課題を調査・研究するため、各部会で専門的な勉強会を開催しました。

【第一部会】

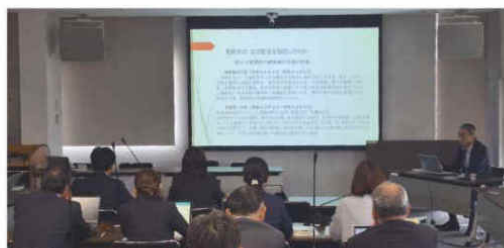
6月5日、原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所長を講師に招き、安全対策をテーマに調査研究を行いました。



【第二部会】

5月11日、真貝委員長を講師に「電源財源が市財政に与えた影響と今後の方向性」について学びました。

6月22日、東京電力ホールディングス株式会社担当者を招き「使用済核燃料搬出の動向」をテーマに、関連する課題について調査研究を行いました。



■永年勤続議員表彰

～6月5日の本会議開始前に、議場で伝達式を行いました～

このたび、次の議員が、全国市議会議長会および北信越市議会議長会から勤続15年以上の表彰を受けました。

春川 敏浩 議員 五位野 和夫 議員 佐藤 和典 議員 相澤 宗一 議員

また、全国市議会議長会から、議長会評議員としての功績に対し 柄沢 均 前議長、阿部 基 議長に感謝状が贈られました。

9月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
9/6	7 本会議 議案説明・質疑・付託	8 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	9 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12
13	14 本会議 (一般質問・予備日) 委員会 予算決算	15 委員会・分科会 産業建設	16 委員会・分科会 産業建設	17 委員会・分科会 文教厚生	18 委員会・分科会 総務	19
20	21 (敬老の日)	22 (休日)	23 (秋分の日)	24 委員会 予算決算 (予備日)	25 本会議 委員長報告・採決	26
27	28 分科会 総務 (現地視察)	29 分科会 総務	30 分科会 総務	10/1 分科会 産業建設 (現地視察)	2 分科会 産業建設	3
4	5 分科会 文教厚生 (現地視察)	6 分科会 文教厚生	7 (委員会・予備日)	8 委員会 予算決算	9 本会議 委員長報告・採決	10



本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。
インターネット中継でもご覧いただけます。
録画映像と会議録も公開しています。

議会日程

中継・傍聴・
会議録

編集後記

2025年の消費支出に占める食費の割合・エンゲル係数は28.8%と、1985年以降で過去最高を記録したことが総務省「家計調査」で示されました。米や卵など生活必需品の価格高騰が家計を直撃する中、賃金上昇が追いつかず、食費を削っても支出が増える「家計の苦しさ」を浮き

彫りにし、家庭の「経済余力」を失う、市民・国民の生存権に関わる深刻な警鐘です。現場の声を反映した実効ある暮らしを守る対策が急務となっています。

議会広報広聴常任委員

持田 繁義

次回発行は 12月5日
お楽しみに

柏崎市議会

Q 検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 田邊優香
副委員長 山崎智仁
委員
池野里美 近藤由香里 山本博文
西川弘美 持田繁義 重野正毅
三宮直人 相澤宗一 春川敏浩